

## 三河のつぶやき

今回は私事を、8月中旬に、宮崎(祖父の家)まで車で帰省しました。合計2600km走破し山梨(実家)に到着し、つかれたなあ、だるいなあと感じていたら、夜間発熱、全身倦怠感、多発関節痛で毛布2枚かけても震えが止まらない状態になりました。その後も1週間体調がすぐれず、今やっと回復したところですが、毎年仕事がかさんでくると(決まって5~8月)、体調を崩し1週間位は使い物にならなくなります。研修医時代先輩に「お前体力ある訳じゃないんだから、無理するな」と言われたことが、いつも思い返されます。無理したくてしている訳ではないんですけど、気がつくとも仕事は山積み…。体力ってどうやってつけるんでしょうか？



地域医療連携室 室長 三河 貴裕

## マイ・ム トライアスロン

トライアスロンは水泳、自転車、ランニングの3種目を一度に楽しめるスポーツです。昨今はビギナーやキッズの大会も増えてどんどん人気が高まっていますが、実はここ南房総は日本のトライアスロンのメッカなんです。館山から鴨川、君津をむすぶトライアングル地帯には「泳いで」、「漕いで」、「走って」、「食べる」ために最適な環境が全て揃っているんですね。

私はトライアスロンを始めて、改めてこの南房総の良さを再確認しました。日本のトライアスリートもみな、南房総・館山が大好きです。毎年6~7月に行われる「タテラ」は日本で3本指に入る人気大会ですが、いつかこの南房総でアイアンマンを開催してほしい、というのが私だけでなく日本中のトライアスリートの願いです。(アイアンマン;水泳3.8km,自転車180km,ラン42kmで行われるロングレース。制限時間は17時間。世界中で行われていて、日本ではようやく今年、第1回大会が北海道で開催予定。)

鉄男

## TOPICS 開催予定の勉強会のご案内 TOPICS

1. マインドフルネス勉強会  
第2回「自分自身の家族との関係性」  
日程: 9/14(土) 9:00~16:00  
会場: 亀田総合病院 K13ホライズホール  
対象: 医療従事者
  2. 安房地域 褥瘡看護勉強会  
第1回: 平成26年1月31日(金) 18:00~19:00  
テーマ: 褥瘡の病態について  
第2回: 平成26年2月28日(金) 18:00~19:00  
テーマ: 褥瘡予防の技術(体圧分散)  
会場: 安房地域医療センター2階会議室
- \* 詳細はプログラムを参照ください。

## 第4回 地域医療連携交流会のご案内

平成25年10月15日(火) 18:30~21:00  
\* 開場: 18:00~  
会場: 亀田総合病院Kタワー13Fホライズホール  
懇親会費: 2,000円  
テーマ: 「地域で抱える現状と今後の展望」  
演者  
1) 赤門整形外科内科 院長 宮川準先生  
2) 中原病院 副院長 関口千春先生  
3) 塩田病院 脳神経外科部長 飯田昌孝先生  
4) 永津さいとう医院 院長 木元博史先生  
特別講演: 亀田総合病院 院長 亀田信介  
対象: 法人職員及び地域医療連携機関  
職種問わずご参加ください。  
\* 詳細はプログラムを参照ください。

## 地域に開かれた大学を目指して



亀田医療大学医療連携室スタッフ

亀田医療大学は、平成24年4月に開学し本年度は2年目を迎え、2期生の入学によりキャンパス内は一段と活気に満ちてきました。現在163名の学生が元気よく伸び伸びと学んでいます。

本学は、看護職の人材養成を担うとともに、地域住民の健康教育や医療・福祉職の継続教育を行う地(知)の拠点として、地域振興の要となることが期待されています。このため、本学では6月に学長の下に地域連携室を設置しました。同室は本学の地域連携業務を全学的視点で円滑に推進するための企画、総括及び連絡調整を一元的に行うこととしています。

また、7月1日には鴨川市と大学との間で、地域の課題を共有し、各々が有する資源や研究成果をもって連携協力しながら、相互発展と地域の活性化に寄与することを目的として、相互連携に係る協定書を締結しました。

本学としては、子育て支援、児童・生徒の健康教育、生活習慣予防・介護予防に向けた生涯教育、医療・福祉スタッフの継続教育等、地域が抱える健康課題の解決に取り組み、研究・教育における地域志向に努めながら、開かれた大学として地域の拠点づくりに取り組んでいきます。

皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 「透析看護師における地域連携」 キャリア支援室・ARTセンター師長 原洋子(元透析室師長)

私は、今年3月まで亀田総合病院透析室師長として勤務していました。その様な立場から今回担当させていただきます。東日本大震災を契機に地域の透析看護師達が集まり、情報交換やお互いの知識向上に向けての取り組みを始めました。初回は、2011年7月に「透析災害対策検討会」と題して、震災時の及び震災後の問題点について各施設の状況を報告しあい、グループワークにて意見交換を行いました。7施設(中原病院、原クリニック、館山病院、上総記念病院、亀田ファミリークリニック館山、安房地域医療センター、当院)25名の看護師、臨床工学士が集い、原徹先生の医師会対応の講演を聴き情報を共有し今後の対策に向けての情報交換となりました。2回目を2012年8月に開催。透析施設として重要となった地震・津波対策の改善を発表し合い各施設の新しい取り組みの知識を得ました。アンケートから継続の声が聞かれ、幹事会をつくり、規約を考え「黒潮透析勉強会」と命名し今年度は、10月に開催予定の計画を立てています。

今後は、君津地域へもお声をかけていき、よちよち歩きではありますが、地域の透析看護の向上のため皆さんと力を合わせて頑張っていきたいと思っております。この4月からは、当院へ就職する外国人看護師や復職を支援する部署へ異動し勤務しておりますが、「黒潮透析勉強会」は微力ながらお手伝いを継続していく予定です。会の目的である「地域の透析看護の質向上と地域連携の強化」を目指して地域の看護師さん達と協力していきたいと思っております。